

～たすけ合い・ささえ合い・おらほの宝～

おたがいさま

【登米市生活支援体制整備事業広報誌】

特 集

『登米市のお宝』

地域での日々のつながりや交流は、支え合いの基盤であり“宝物”です。



困ったときは“おたがいさま”
「いしこし助け合いサービス」スタート！

石越町では、高齢者を中心とした外出困難な方への支援策として、「いしこし助け合いサービス」を令和元年10月1日からスタートしました。

いしこし助け合いサービスは、登米市社協石越デイサービスの送迎車両を空き時間にお借りし、協力会員が付添いの支援を行うものです。

「自分達にできることは何か」、「将来の私達にも必要な活動は何か」話し合いを重ねた末にたどり着いた、住民互助の取り組みです。（詳細は2ページ）

No. 9

困ったときは“おたがいさま”

いしこし助け合いサービス

石越町の住民による、住民のための、会員制の助け合い活動です。

登米市生活支援体制整備事業第二層中田・石越圏域協議体石越地区連絡会では、「足腰が弱くなったり、免許を返納して車が運転できなくなったりして、生活でのちょっとした困りごとがあっても手伝ってくれる人がいない…」などの地域課題に対し、自分達にできる取り組みは何か?検討を重ねてきました。

その結果、登米市社協石越デイサービスの送迎車両を空き時間にお借りし、住民の皆さんとの参加と協力により“おたがいさまの精神”でお手伝いする、住民互助の助け合いサービスが生まれました。

利用する方も協力する方も会員登録をしていただき、必要に応じたサービスを提供します。

会員の対象者

種類	対象者
利用会員	石越町に在住し、事業の趣旨に賛同いただき、尚且つ 60 歳以上で車の運転ができないなく、支援を必要とされる方。
協力会員	事業の趣旨に賛同いただき、助け合いの精神でご協力いただける方 (付添い介助、車両の運転、軽微な生活支援、事務局の運営支援等)

※サービスを利用するには、会員登録(許可)、同意書への署名が必要です。

利用会員会費及び利用料

年会費	1人/1,000円(事務諸経費・保険料)
利用料	町内…100円 町外…200円 (1回1時間程度とします。) ※主な目的地は、石越町、中田町、迫町、若柳町とします。

利用日時

月曜日から金曜日(土日祝日・年末年始を除く)
午前8時30分から午後3時まで



1人、月2回まで
利用できます。

サービスの内容

協力会員が利用会員に対して、生活支援サービスを行います。

- ・病院等への通院付添い支援。
- ・買い物への付添い支援。
- ・金融機関への付添い支援。
- ・その他、ちょっとした困りごとのお手伝い。

利用される方、
協力いただける方を
募集中です!!

相談・お問合せは、

登米市生活支援体制整備事業
第二層中田・石越圏域協議体 石越地区連絡会

いしこし助け合いサービス事務局
電話 0228-34-2501

随時申請可能です。

申込書の配布、お問合せは左記まで!!



生活支援体制整備事業

迫 圏 域

～地域支え愛～

おでつてNet

こんな気持ちから始める私サイズの支え合い



江合行政区 笑顔もこだまする「さわやか会」

さわやか会は平成21年に発足して以来、毎月開催し、今年で10年目の活動です。東日本大震災後に、移住された方も今では自然に溶け込み、介護予防に繋がるレクリエーションなどを一緒に楽しんでいます。



友愛地区・集会所新設「子供会合同納涼祭」

平成30年11月に集会所が新設され、住民の集まる場が増えています。そこで今年初の試みとして、自治会主催で「納涼祭」が開催され、子どもから高齢者まで多くの方が交流しました。現在は、週1回のペースで集会所が利用され、住民の皆さんのがんの憩いの場として有効活用されています。



健康寿命を延ばそう！小友地区食改が大活躍

ミニデイの開催時、食改の皆さんのが1品1品手作りで、地元の野菜をふんだんに取り入れた昼食を提供しています。毎日の元気は、バランスの良い食生活が要。野菜を意識した食事づくりのアドバイスなどを行なながら、健康的の輪を広めています。



森吐出自治会「毎戸に命のバトン配備」

救急医療の現場では秒単位の差が生死を分けることも少なくありません。生存率を高めるには、既往症や服用薬などの情報を医療現場に正確に早く伝えることがポイントになります。「命のバトン」とは、緊急時に必要な医療情報を専用容器に入れ、冷蔵庫に保管し、迅速な救急活動に役立てます。みんなで守り、支え合う地域づくりを目指しています。(文責:門脇区長)

こんにちは 生活支援コーディネーター です！

11月14日(木)、梅ノ木グリーンパークを会場に、おでつてnet杯第2回グラウンド・ゴルフ迫町交流大会が開催されました。当日は小雨模様の中、228名が参加。地域内外の輪を広げ、良い親睦と交流になりました。今年の総合優勝もなんと“女性”頼もしいものですね☆



～明日も元気で～

おみょうにち ❤

子どもたちへ繋いでいきたい(東和編)



待望のミニデイ誕生！

錦織1区で新たにミニデイが立ち上がりました。なつかしい再会もあったようで話に花が咲きました。こうした交流の場が地域の絆を深めます。集会所までは遠いけど、近所での集まりなら気軽に立ち寄れるのは、うれしいポイントですね。



多世代が自由に語れる交流会

米谷地区を活性化させようと昨年有志で立ち上げた「米谷のみらい」。春の「さくら祭」に続いて交流会を開催し、住民同士の顔合わせと米谷に対する思いを話し合いました。若い世代が考える新たな地域づくりにワクワクしました。



東和ってどんなところ？

社会福祉協議会東和支所初の懇談会を開催しました。地域で気になっていることや、できそうなことについて話し合いました。いただいた貴重な声を今後の地域づくりに反映していきたいと思います。帰りには、移動販売車の買い物体験を楽しめました。



錦織小学校環境整備隊

子どもたちの安全を守りたい！と地域の有志で自発的に始まった登下校時の見守り活動。今では花壇清掃まで行っています。地域と学校の連携はもちろん、何より子どもたちの元気な声が隊員の大きな活力になっているようです。

暮らしの中に溶け込む宝物(登米編)



気にかけ合う大切な仲間

「さわやか会」(上館ミニディ)で地域の自慢を教えていただきました。ミニディの他にもいきいき元気体操、脳トレ教室、上館婦人会の活動があり、密にコミュニケーションを取りっています。皆さん、「みんなに会えるのが一番の楽しみ!」と話されていました。



続けること40年!

登米町老人クラブ連合会の第40回スポーツ大会が行われました。健康づくりと会員の交流を図ることを目的としています。真剣に、時に笑いありの中、競技に取り組んでいました。また、終わったあとの慰労会も皆さんの楽しみの一つです。



SAND COAT Mosuperio

駅前通りの道路沿いに現れるビーチ、気になった方もいるのではないでしょうか。ビーチサッカーチーム「モスペリオ東北」が練習を行っています。コートの外でも近所の方の見守りや、ボランティア活動、復興イベント等地域貢献に汗を流す若い力です。



白熱した3日間

「とよまさんぽランドカフェ」が3地区で開催され60名近くの方が参加されました。ペタンクは初めての方も多かったようですが、すぐにコツを覚え、にぎやかに対戦を楽しみました。一味違った体験型さんぽランドカフェはいかがでしたか?

こんにちは 生活支援コーディネーター です!

広報誌の発行に際し、ご協力いただいた皆さんありがとうございました。どの活動にお邪魔しても、活気や笑顔が溢れ楽しかったです。今後はさらに出会った地域のお宝を繋いでいくよう努めます。活動を紹介したい方はお気軽にお声掛け下さい。



生活支援体制整備事業
中田・石越圏域

～支え合い～
かわりねすか

日々、気にかけてくれる人がいればいい



男前ダンベル 小島へ参上

男前ダンベルが依頼を受け、小島ミニデイサービスに参上しました!玄米ダンベルの「にぎにぎ体操 12 ポーズ」を参加者の皆さんに伝授。楽しいトークとダンベルで、センター内に笑い声が響き渡りました。健 康づくり・生きがいづくりの伝導師として活躍が期待されます。



地域の交流の場 「ユニカール大会」

上沼新田では、子供から高齢者まで参加できるユニカール大会を今年も開催しています。試合になると参加者は真剣そのもの。一投ごとに歓声が上がります。普段、会えない人とゲームを楽しみながら、地域のつながりの場となっています。



蓬原世代間交流「今度いつ会えるの？」

お雛様、七夕様、そして12月にはクリスマス会と、一年を通して地域の高齢者と子どもたちが交流をしています。参加した子供たちは、散歩している時などに出会うと元気な声であいさつをしてくれるようになりました。子どもたちから元気をもらい、春のお雛様会を楽しみにしています。



この旗が目印！お茶っこ飲みやってま～す

加賀野二区では、ミニデイサービスの2回目としてお茶っこ飲み会を開催しています。地域の方々が手料理を持ち寄るなどして交流を楽しんでいます。お世話人さんが皆さんに楽しんでもらえるよう工夫を凝らしながら開催しています。

※旗は社協中田支所にて貸出を行っています。

手をつながなくても、心がつながっていれば



第八 懐かしい“向こう三件両隣”

七福神会では、老人クラブとミニディ会員の教養講座として映画「ひとりじゃない」の上映会を行いました。昔と比べるとご近所づきあいが希薄になってきている昨今、この映画を通して地域の交流やつながりを見つめ直す良いきっかけづくりになりました。



第十 “今日はみんなで「環境美化」”

第十老人クラブでは毎年地域の奉仕作業を行っています。作業終了後に集会所で、皆さんでお茶っこ飲みをしています。12月には、恒例のしめ縄づくりがあり、皆さんとても楽しみにしています。地域での活動は、お互いの見守りにもつながっています。



寺山 “待ちに待った年に1度の収穫祭”

米や野菜を味わうこの日、集会所内は、さんまの塩焼きや里芋入りの豚汁などの香りでいっぱいです。「私はこっちの方がおいしいわ」皆さん笑顔がこぼれます。昔の苦労話に花が咲き、「近所のつながりを深めような～」と、思いを一つにしました。



大正琴愛好会 “素敵な音色を聴いてみて”

月二回、十数名の会員で練習会をしています。皆さん、「一緒に学びお互いに勇気づけ合っています。」と話されていました。「気持ちを強く持って打ち込めば、年齢は関係ない」と、現在は新しい曲「長崎の鐘」の練習に励んでいます。

ここにちは 生活支援コーディネーター です！

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）として地域のお宝（集いの場）に訪問させていただきました。「自分がどのような状態になってもこの地域で暮らしていくける地域づくり」と話をさせていただいております。お宝がキッカケで地域がつながり、地域の課題を地域で解決できるように、地域の皆さん考えてみてはいかがですか。





自慢したいね！米山のお宝

パート2



元気の秘訣は歩くこと

江浪行政区の高橋さん(88歳)、熊谷さん(93歳)はグラウンドゴルフ仲間です。秋に開催する「環境美化ボランティア活動」に毎年欠かさずに参加。日頃から体を動かすことを苦にしないことが、ご長寿の秘訣です。



情報交換の場 『カフェよっぺす』

米山総合保健福祉センターでは月・水・金曜日の午前10時から午後3時まで、セルフカフェ『カフェよっぺす』をオープンしています。友達とのおしゃべりや、ちょっとした打合せの場所として、市内の皆さんのがくつろぎの場としてご利用ください。



お友達大作戦「なんでも頼んでえ」

中新田老人クラブ「はれやか世代」会員有志4人は『おともだち大作戦』と称し助け合い活動を行なっています。プロには頼みづらい“ちょこつとした”大工仕事や修理など、地域高齢者からの依頼に駆けつけお悩みを解決しています。



災害時に役立てる豆知識

日本キャンプ協会会員、新町行政区佐藤氏を講師に迎え「よっぺす講座」を開催しました。水を使わずに調理できるダッチオーブンで作ったカレーの味は絶品で、災害時にも大いに役立つ“魔法の鍋”に皆さん興味津々でした。

自慢したいね！南方のお宝

パート2



見守りおじさん隊、頑張る！

県の表彰を受けた「西郷支部子ども安全見守り隊」。月曜日と金曜日の週2回、2か所に分かれて街頭指導を行っています。活動を通して子供達とふれあう機会も増えたと話す笑顔のお二人。見守り隊は地域を支えてくれる頼もしい存在です。



今年も作りました！「浅漬けの素」

料理上手の会員さんがそろそろ大岳ミニディでは、唐辛子の収穫時期に合わせて浅漬けの素作りを行っています。作り続けて9年目となるこの浅漬けの素は、どんな野菜も色鮮やかに漬かり、会員さんの食卓に彩りを添えてくれるといいます。



若返りの薬！それは…カ・ラ・オ・ケ

知っている曲は一緒に口ずさむ…。北本郷行政区「教養創作部」では、行事の一環として月に2回ほどカラオケの日を設けています。マイクを握る皆さんのが声は驚くほど若々しく、カラオケが若さを保つ薬となっているようです。



老舗呉服屋さんでのお茶っこ会

老舗呉服屋の「ほしや」さんでは、もてなし上手の奥さんが、毎日のようにお茶っこ会を開いています。集まる常連さん達はほとんどの方が古くからのお付き合いで、ここに出掛けて来ることでお互いの見守り合いにも繋がっています。

こんにちは 生活支援コーディネーター です！

今回もお邪魔させていただきました地域の皆様。取材のご協力をいただき大変ありがとうございました。取材期間が長かったため季節にそぐわない写真もあるかと思いますが、どの記事にも取材に応じていただいた皆様への想いがぎっしり詰まっていると自負しております。今後も「支え合い・見守り・文化の伝承」など、まだまだ隠れているお宝を探しに皆さんのもとにお邪魔したいと思います。



～人と人とをつなぐ～

ゆいつこ

とよさと力は無限大！！



しめ縄づくり後継者募集中！

今ではなかなか見かけることが無くなったしめ縄づくり。二ツ屋では老人クラブの方々が中心となり、お祭り用やお正月用のしめ縄をみんなで協力しながら作成しています。次世代に受け継ぐために後継者を探しています！



豊里町でおもてなし

豊里でも仲間づくりを気軽にできる場所を…と『水辺のカフェおもてなし』ができました。顔を合わせなくとも話ができる時代ですが、雄大な北上川を眺め、コーヒーを飲んでホッと一息ついで、顔を合わせておしゃべりしませんか？



鶴波サロン

サロンの日以外はそれぞれ畠仕事。サロンの日は畠で収穫したものを持ち寄り、試食しながら楽しくおしゃべりしています。お昼は、あお弁当をとつて皆さんで食事。そして、昼食の後は気心知れた人たちとお昼寝をします。一人よりみんなでお昼寝した方が安心できるようです。



青空マーケット大盛況!!

11月3日(日)に開催した青空マーケット&だがし屋カフェはおかげさまで大盛況でした。1年間の休養を終え、パワーアップした豊里町ボランティア友の会の方々に大活躍していただき、最後はみんなでおしるこをぱくっ！みんなで一つのことをやりきった笑顔は最高でした。地域の方々のパワーは無限大です!!

津山の『今』だからこそ考えられること



宮町ミニディ復活

しばらく休止していた宮町ミニディがついに復活しました。「他でやって、おらほでやってなかったから出来て嬉しい!!」との声がたくさん上がりました。「顔を合わせてお話するだけでもいいよね!」と、ミニディ復活をとても喜ばれていました。



津山地区地域課題検討会

津山地区地域課題解決検討会議に津山地区協議体委員の方々と一緒に参加しました。宮城県サポートセンター支援事務所の真壁さおり氏を講師に津山町の課題や、これから地域づくりについて改めて考えるきっかけとなりました。



買い物→茶話会＝見守り！

買い物に来たついでに、かせがいやさんの隅にあるテーブルに座って茶話会。ちょっとした世間話や情報共有をしています。買い物をして、お話をし、みんなの顔を見て安心して…得することばかり! 夕飯のメニューもここで決まります!



支え合い・おたがいさまってこういう事

台風19号で被害にあった近所同士で片付け合ったり、比較的被害が少なかった家で炊き出しや差し入れを持ってきたりとご近所同士の支え合いやおたがいさまの精神が見られました。もちろん各地域からのボランティアによる応援も、とても力になりました。

ここにちは 生活支援コーディネーター です！

台風 19 号について…

今回の台風 19 号で被害にあわれた方々には心よりお見舞いと一日も早い復興をお祈りしています。担当している津山町が被害にあい、たくさんのボランティアの皆さんに助けを頂き、豊里・津山圏域担当生活支援コーディネーターとして、一住民として感謝申し上げます。



みんなで参加してつくる 助けあいの地域づくりへ

皆さんの暮らしているところはどのような地域でしょう。ご近所でいさつが交わされたり、ちょっとしたことは気軽に頼みあえる関係になっていますか。助けあい活動は、子どもから高齢者まで、誰もが助けたり、助けられたりするものであり、「おたがいさま」の気持ちで取り組むものです。「できること」「してほしいこと」「ありがとう」を合言葉に交換するものともいえます。様々な人たちが参加して行うことで、さらに地域がつながり、助けあうことの楽しさが倍増します!

ご近所さんの小さな困ったに、気づけていますか？



生活支援体制整備事業広報誌

おたがいさま

～たすけ合い・ささえ合い・おらほの宝～

第9号発行日 令和元年12月20日

発行・編集 社会福祉法人登米市社会福祉協議会

〒987-0513 宮城県登米市迫町北方字大洞45-3
(迫老人福祉センター内)

TEL : 0220-21-6310 FAX : 0220-21-6320

E-Mail : honbu@tome-shakyo.jp

ホームページ : <http://www.tome-shakyo.jp>

